

令和 2年度

事務事業評価表 ( 令和元年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 2 年 4 月 20 日

事務事業名		わくわく茨城生活実現事業					事業区分		担当	
							新規/継続	新規	事務事業No.	050202001035
							単独/補助	補助		025101
政策体系上の位置付け									所属課	ヤマザクラ課
政策体系	総合計画の施策名	0502 景観の良い住環境の保全							課長名	
	政策名	05 快適な暮らしのまちづくり							グループ	ヤマザクラグループ
	施策名	02 景観の良い住環境の保全							担当者名	
	手段名	02 ②定住・空き家支援の推進								
財務会計上の位置付け							事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		単年度繰返し ( 年度~ )	
	01	02	01	18	01	00	ヤマザクラの里づくり事業		☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	
法令根拠										

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
手段	①事務事業の概要(事務事業の全体像) 移住・定住の促進及び中小企業における人手不足の解消に資する、茨城県と共同して行う「わくわく茨城生活実現事業」において、東京圏から移住して就業等した者に移住支援金を交付する。
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 わくわく茨城生活実現事業の移住支援金関係業務 ・申請書受付、審査、決定等の業務 ・支援金の支払い手続き

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
わくわく茨城生活実現事業の移住支援金関係業務 ・申請書受付、審査、決定等の業務 ・支援金の支払い手続き	マッチングサイトへの登録事業所数	事業所	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
市民	桜川市の人口	人	40,483.00	39,692.00	39,571.00	38,957.00	38,343.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
市内事業所への就職、移住・定住を促す。	移住支援金(世帯)を交付した件数	件	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00
	移住支援金(単身)を交付した件数	件	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入量	事業費内訳	単位	30年度	01年度	02年度	期間限定 総投入量
			(実績)	(実績)	(計画)	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	1,212	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	使用料・手数料	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	404	0
	事業費計(A)	千円	0	0	1,616	0
正規職員従事人数	人	0.00人	1.00人	1.00人		

事業費の内訳	01年度事業費 実績(千円)			02年度事業費 予算(千円)		
				11 需用費	16	
			19 負担金補助及び交付金	1,600		
			合計	0		
					合計	1,616

事務事業名	わくわく茨城生活実現事業	事務事業No.	50202001035	所属課	ヤマザクラ課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 移住・定住の促進及び中小企業における人手不足の解消に資する、茨城県と共同して行う「わくわく茨城生活実現事業」の移住支援金についてR1年8月27日開催の第3回市議会定例会に補正予算案を提出し、予算措置を行い事業を開始した。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 市内事業所等で構成する立地企業懇談会等において、事業説明の機会を得て周知を図った。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 茨城県との共同事業であり、移住定住の政策に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 茨城県との共同事業であり、市内事業所等の就職支援、移住定住支援に結びつくものであり、妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 支援金制度を市内事業所等へ周知することで、成果に結びつけられる要素はある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 県支出金を活用する事業であり、支援金制度に興味を示す事業所等もあるなか、影響が出る可能性がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 最小限の事業費、人件費で事業を実施しており削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 茨城県との共同事業であり、国1/2、県1/4、併せて3/4の財源負担がある。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	移住・定住の促進及び中小企業における人手不足の解消に資することが期待される場所であるが、マッチングサイトへの登録事業所が0であるため、登録事業所の推進を行ったが、年度内の登録は困難であった。次年度以降においては、市内事業所等への周知を図っていく。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 市内事業所等の就職支援、移住定住支援に結びつくものであり、庁内関係課との連絡調整を図り、市内事業所等への訪問・周知をおこなって、支援制度を推進していく。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							
		(6) 事務事業優先度評価結果																						
		成果優先度評価結果																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>